

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 放課後デイあかり		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年 11月 28日		2025年 12月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	保護者からニーズや状況把握の為、モニタリングにしっかり時間を使い、送迎時にも児童の様子を伝え合うようにしている。	外部研修や内部研修を通してより児童に対する理解を深め、子どもの成長に必要な支援を行っていく。
2	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いませんか。	送迎時の話・配布物・LINE・モニタリングなどで情報伝達を行っている。LINEはちょっとしたことをいつでも出来るだけ気軽に使えるようにしている。児童にも自分の思いなど伝えやすいように、普段から気軽にコミュニケーションがとれるよう関わっている。	児童や保護者にわかりやすい情報伝達ができるように、相手の立場にたった意思の疎通や情報を伝達できるように心がけていく。
3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ささいなことでも、提出してもらうようにしている。	職員がよりヒヤリハットを提出しやすいように、ヒヤリハットの提出方法などをよりよくしていけるよう考えて行く。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	室内が狭く、限られたスペースでの遊びとなってしまう。	室内では人数が多くても、児童が集中して楽しく取り組める活動を考えていく。また、室内だけでなく室外での過ごし方の幅を広げ、広々と活動ができるようにする。
2	活動プログラムの立案をチームで行っているか	少人数の職員で話しており、より多くの意見を取り入れたい。	職員同士でじっくり考えられる時間を作れるように体制を整える。
3	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者会などで情報を共有、障がいの理解を深める、つながりを持つなどの機会の提供は必要だと思う。	ニーズやどういった形での提供が良いかなど検討していく。